

平成 28 年度 熊本市歯科保健推進協議会における検討委員会 議事録要旨

日 時：平成 29 年 2 月 24 日（金）14 時～15 時半

場 所：熊本市役所駐輪場 8 階会議室

出 席：8 名 逢坂 佐恵子、古閑 進、高松 尚史、竹田 和子、土屋 裕子、中山 秀樹、
前田 篤志、宮本 格尚（五十音順・敬称略）

事務局：健康づくり推進課、子ども支援課、保育幼稚園課、子ども発達支援センター、各区保健子ども課

【宮本会長】

昨年度より妊娠期・乳幼児期における子どものむし歯予防対策について検討しており、今回で 3 回目の協議となる。本日は子どものむし歯予防対策の実施状況を踏まえて、「熊本市歯っぴー39 チャレンジ」の今後のスケジュールについて協議していきたいと思う。

1 事務局より説明

・資料 1～3 について説明（資料 2 は東区歯科医師より説明）

・参考資料（8020 推進財団の啓発ポスター）について説明

⇒【事務局】このポスターをあらゆる場で掲示して啓発していきたいと考えている。このポスターは 8020 推進財団のホームページに掲載されており、加工せずにそのまま使用するのであれば各団体も自由に使用できるので活用して頂きたい。掲示したい場があればポスターは事務局で準備させていただく。

2 事務局からの説明についての質疑

【宮本会長（市歯科医師会）】

子どものむし歯の現状と今後の取り組みについてということだが、一番気になるのはやはり 3 歳児のむし歯が減っていないことであり、本協議会のテーマにもなっている。これまでも 3 歳児になる前からアプローチすることが大切であると協議をしてきたところであるが、歯科医院に行く頃にはすでに 3 歳児になっている。それではむし歯は減らないので各団体にご協力を頂きたいところである。

ここで、先ほどの事務局からの説明について質問がある方は発言して頂きたい。

質 問	回 答（事務局）
【逢坂委員（県歯科衛生士会）】 資料 1（7 ページ）の「むし歯が急増する 1 歳 6 か月から 3 歳までの間に、ハイリスク対象者に個別アプローチが必要」という課題について、どのような形でアプローチしてきたのか、もしくはどのようにしていく予定か。	1 歳半や 3 歳児健診後に、医師・看護師・保健師・歯科衛生士・管理栄養士など健診にかかわる多職種で「あの子はむし歯が多かったがどうだろうか」など気付いたことを情報交換している。成長についてフォローが必要な子は 2 歳児フォローとして保健師が中心となって声かけをしている。また、育児相談も実施しており、保健師・歯科衛生士・管理栄養士それぞれ個別に対応させて頂いている。

質 問	回 答 (事務局)
<p>【竹田委員（県看護協会）】</p> <p>卒乳していないことがむし歯が多い原因のひとつにあげられているが、私たちは「おっぱいは飲ませていいよ」と勧めている立場なので、今後 1 歳半のお母さんたちにどのように指導し関わっていけばよいのか。</p>	<p>【歯科医師（東区）】</p> <p>健診の際に「どのような時に飲ませますか」と質問しているが、大抵のお母さんが「欲しがる時」と回答するので、卒乳の有無だけでなく与え方の問題もあると思う。特に問題なのは就寝時の授乳なので、就寝前に仕上げみがきでその他の汚れを落とすことが大切であることを伝えている。ただ卒乳が出来ない場合もあるので、それを踏まえた上でしっかり仕上げみがきをしましょうと指導しているところである。</p>
<p>【高松委員（市歯科医師会）】</p> <p>1 歳半から 3 歳までのむし歯の増加が抑えられたら多少は違うと思うので、1 歳半から 3 歳までのあいだに何かしら取り組まなければならない。しかし歯科医院は患者が来るのを待つしか出来ないの、何か行政的にできることはないだろうか。</p> <p>対策として資料 1（7 ページ）に情報提供と記載があるが、どのようにするのか。パンフレットを作ることもホームページに掲載することも情報提供ではない。意識の高い人は自分で健康管理できるので意識の高くない人への対策をどうするのか。行政的なアプローチでなければ難しいと感じている。具体的にどのようにしようと考えられているのか。</p> <p>※要望・・・熊本市では成人歯科健診がなされていない。次年度予算も熊本城復興という名目で教育や医療などが削減されるが、復興ということで色々削減されるのはいかなものかと思う。健康に対する意識を高めるためにも成人歯科健診にアプローチをかけて頂きたい。そのためにも課として熊本市の財政に強く働きかけて頂けたらと思う。</p>	<p>1 歳半のあと 3 歳児まで健診がないので、1 歳半歯科健診でフッ化物塗布を体験してもらい、そこから歯科医院へつなぎ、定期的な管理を勧めているところである。1 歳半以降にフッ化物塗布を 2 回以上行った者が約半数になってきた。今後、フッ化物塗布継続者を増やしていくよう積極的に勧めていきたい。</p> <p>また 1 歳半では通園している児が 50.8%、3 歳児は 83.6%いる。そこで保育園において親への健康教育の場を頂いて、歯科専門職が園職員や保護者・園児に対して歯みがきの習慣をつけていくなどの対策をとれたらと考えている。</p>
<p>【宮本会長】</p> <p>資料 3（2 ページ）について、地域の子育てサークルなど、どれくらい実施されているのか。また、区ごとに実施しているのかを教えてください。</p>	<p>8 月の協議会でも報告させて頂いているが、平成 27 年度の乳幼児対象の歯科健康教育は 165 回、2617 組に実施しており、区に依頼があったところに出向いたり、行政からアプローチし実施している。</p>

質 問	回 答（事務局）
<p>【宮本会長】 親の喫煙と子どものむし歯の関係についてどのように考えているか。</p>	<p>【歯科医師（東区）】 副流煙によるメラニン沈着や唾液減少などの直接的な影響もあるという印象を受けているが、やはり喫煙を含めた生活習慣が影響しているのではないだろうかと考えている。喫煙だけが全ての原因ではないと思うので、その単項目だけでむし歯との関係を言うのは危険かと思う。ただ、今回解析したときに喫煙がむし歯発生への関連性が高い項目として上がってきたので、場合によっては健診の場で深く聞き取りをする必要があるかと思う。</p>

3 3歳児のむし歯のない者を90%以上にするための各団体の取り組み（スケジュール）について

【宮本会長】

3歳児のむし歯のない者を90%以上にするための取り組みについて、各関係団体から話していただきたい。

関係団体の取り組み内容、ご意見等
<p>【高松委員（市歯科医師会）】 歯科啓発として、医師会の協力のもとリーフレットを産婦人科で配布していただけるようにしたい。すでにリーフレットは作成しているが、準備をして次年度4月以降に配布を行いたい。 歯科健康教育について、ご依頼があれば歯科講話を行うことは可能だが、どのようにしてその場をつくるのが難しい。自分たちから各団体に無理に歯科講話に行くわけにはいかないので、各団体へのアプローチは行政にお願いし、依頼が来れば歯科医師会が実施するという形が効率的だと思う。</p>
<p>【前田委員（市医師会）】 無料歯科健診付カードの配布を協力する。小児科の医療機関の受付等に設置する準備はできており、カードは市のほうから配布していただくことになっている。また、先日、小児科医会の学術集会上に小児歯科医の先生に来て頂き、小児科医にむし歯予防の大切さについて講話していただいた。その他、産婦人科等でポスターの掲示をするなど準備をしているところである。</p>
<p>【古閑委員（市薬剤師会）】 無料歯科健診付カードを全ての会員の薬局に設置する予定である（340ヶ所）。しかし、ただ設置しておくだけではなく、薬剤師が一言声かけをするようにしていきたい。また、地域の薬局が健康のファーストアクセスになってもらう健康サポート薬局という制度ができた。まずは薬局に相談してもらい薬局で賄えないものは受診勧告を行うというものである。 個人的に思うことだが、需用が多いのは歯の痛みに対する薬だと感じている。さきほどのことが実践できれば、市民の健康にプラスになるのではないかと思う。 ⇒【宮本会長】無料歯科健診付カードを手渡していただくことは、大きなことであり非常にありがたい。</p>

【竹田委員（県看護協会）】

県看護協会の中の熊本支部としての活動になるが、まちの保健室等のイベントで相談は受けるものの、歯科だけというわけではない。会員の中には病院に属している者も多いので、さきほど宮本先生や山川先生のお話を聞き、参考になることはしっかりと会員に伝えていきたいと思った。また、歯と全身の健康の関係について知らない方もいるので、理解をしていただくように歯科医師会の先生にお話していただければと思う。

⇒【宮本会長】是非要望していただければ協力できる。

【土屋委員（8020 健康づくりの会）】

月1回、未就園児を対象とした子育てサークル（1～2/校区）がコミセン等で開催されている。校区ごとに2名いる主任児童委員が主催している。中央区の場合は民生委員・児童委員の集まりに区役所の歯科衛生士が出向き、8020 推進員になりませんかと募集を行っている。そのため民生委員の中には 8020 推進員になれる方が多い。しかし民生委員は高齢者と関わる人が多いので、高齢者へのアプローチはできるが、主任児童委員が 8020 推進員になれば各校区の子育てサークルにもっと歯科啓発の場を取り入れることが可能ではないかと思う。全部のサークルに区役所の歯科衛生士が行くのは難しいと思うので、少しでも熊本市歯っぴー39チャレンジの目標達成できるように主任児童委員に 8020 推進員になってもらえたらと思っている。

【逢坂委員（県歯科衛生士会）】

平成 17 年から市歯科医師会の先生方と健診や歯みがき指導・講話をしていたが、平成 22 年から歯科衛生士会単独で妊娠中や子育て中の方（主に 3 歳未満）に歯みがき指導・講話を子ども文化会館で実施している。妊娠中の方に対しては母子感染やたばこの影響、授乳など写真等を使って具体的に話しており、歯科医院ではできないような情報提供が出来る。ただ人員の確保が難しい現状である。

【保育園連盟（欠席のため事務局代弁）】

歯科啓発については、各園の掲示板に園児の様子や市内で流行している病気等を掲示しているので、その掲示板でむし歯予防について保護者に啓発したいとのこと。保育園内での「見える化」ということで視覚的に訴えていきたいとのこと。歯と口の健康週間にあわせて 5～6 月が効果的ではないかのご意見もいただいている。また、市内の保育園連盟加盟園にむし歯予防の印刷物を掲示していただくよう依頼すると保育園連盟の坂本委員から連絡があった。

歯科健康教育については、園長会等で熊本市歯っぴー39 チャレンジの取り組みについて報告し、乳幼児の歯科保健教育の大切さを確認すると共に、各園の職員や保護者への啓発をやってほしいとのこと、園長会が 5 月頃予定されているので（検討委員会後、4 月の定例園長会で実施すると決定）、そこで熊本市のむし歯の現状等を説明させていただくことになっている。

【私立幼稚園協会（欠席のため事務局代弁）】

歯科啓発については、新入園児を対象に働きかけたいと申し出ていただいております、各幼稚園で啓発チラシ等を配布できるとのこと。

歯科健康教育については、子育てサークル（未就園児対象）における園歯科医による講話や歯みがき指導を実施していく場をつくっていただけるとご意見頂いている。これも歯と口の健康週間にあわせて 6 月が効果的ではないかとのこと。

また、年に 2～3 回保護者対象の講話に歯科の内容を入れるよう保護者と話しを進めていきたいとのこと、具体的な日程は未定だが各園に働きかけていきたいとありがたいご意見を頂いた。

【中山副会長（熊本大学歯科口腔外科学分野）】

課題に対しての具体策がそれぞれの団体から出ているが、どの団体も協力的でありたいご意見を頂いているので、これからの歯っぴー39 チャレンジが非常に楽しみである。

その中で影響力のことを考えると、やはり保育園・幼稚園の園長先生レベルになるかと思う。そして保護者への啓発。例えば保育園・幼稚園での歯のキャンペーン（啓発）を1日だけでなく一定期間実施したり、講話の依頼があれば歯科医師会の先生方に依頼して教育を深めたりすることも大事だと思った。

また、政令指定都市の中で、浜松市や川崎市、新潟市などは1歳半から3歳にかけてむし歯の有病率の順位が上位に上がっている。名古屋市においては1歳半も3歳児も1位である。これらの都市の取り組みを参考にすると何か見えてくるのではないだろうか。

⇒【事務局】名古屋市、京都市、岡山市などは3か月児や8か月児育児相談など1歳児までの間のカバー率が良い状況なので1歳半のむし歯有病率が良いのではないのだからと考えている。また浜松市は希望者に2歳児歯科健診を実施したり、フッ化物塗布事業もしているため、むし歯有病率が改善しているのだと考えられる。

1歳や1歳半にこだわらず、3歳前の2歳や2歳半など節目にモチベーションを持っていただく機会を設けられたら良いと思う。ただDMFT歯数は一度むし歯治療しても引きずったままなので、やはり年少への教育が大切であり、遑って妊婦さんへの教育（早産、低体重児のリスク等）も必要であると思う。

【高松委員（市歯科医師会）】

健診や園長会の場合などで保護者等へ説明する際に、理由付けしながら説明することが大切である。例えば間食の取り方についても「ともともと口の中は中性であるが、食べ物をとると酸性になり、唾液の作用でまた中性にもどるというのを繰り返している。間食が多いとそれだけ酸性の状態が長くなり、むし歯になりやすくなる」などと具体的に説明することで聞くほうが納得できる。

【宮本会長】

各団体から良いご意見を頂いたので、ひとつでもふたつでも良いので実行できるようにご協力いただきたい。また、熊本市歯っぴー39チャレンジが8020のように熊本市民が全員分かるように進めていけたらと思う。子どもたちは日本の宝なので守っていかなければならない。歯科医師会としてもしっかりやっていきたい。

4 事務局より

- ・地域歯科保健研修会の案内
- ・各団体の皆様から活発かつ貴重なご意見をいただいたので、今後効率的に取り組むためのヒントとしていきたいと思う。また、行政だけではなく皆様のお力が必要なので、連携しながら進めていきたい。熊本市のむし歯を減らすためにも、ご協力をお願いしたい。